

障がい福祉・地域福祉の充実について



丸岡 弘満 議員
(自由民主党・無所属の会)

問 これまでも質問してきた地域生活支援拠点の整備について、令和2年度までに1カ所整備するという第5期障害福祉計画の目標は達成出来るのか。

答 障がい者の介護者が入院や急な用務で一時的に介護が出来ない場合や、親亡き後の一時的な受入れ等を実施するための地域生活支援拠点の整備は、現在のところ難しい状況です。

問 4期、5期計画で整備出来なかった。6期計画でも1

カ所整備を目指すと言ったが、整備を待ち望んでいる方々がいる。なぜ整備が進まないのか。

答 障害者自立支援協議会の関係者も整備を強く願っており、24時間受け付けの連絡体制や対象者の選定、短期入所受入れの場合の空床確保の補填など経済的な負担の問題をどのようにクリアするのかなど、検討しています。利用の際の負担があり、整備したが利用が難しいとならないよう、理解を得ながら進めています。

問 令和3年の小学校進学予定者のうち、障害児タイムケア事業の利用希望者を把握しているのか。また、6月議会では現状の確認と今後を考えた提案をしたが、結果はどうなっているか。

答 特別支援学校と特別支援学級の進学予定数は把握しています。生徒数が少し増えるため、

タイムケア利用者も増える可能性があります。利用希望は把握していません。定員は若干余裕があるため、放課後等デイサービスなどの協力も兼ね合わせ、どうするか検討したいと考えます。

意見 対応が遅い。放課後等デイサービス1カ所廃止後も、法人がなんとかうまく引継ぎされたから良かったが、タイムケアも前回回答弁では定員に対して余裕はあるが現状の人数が限界ではないかと答えており、今も対応が出来ていない。予想される中において先手先手で考えなければいけない。

■その他の質問項目

- ・農業の再生と活性化について
- ・コロナ禍における新しい学校教育について
- ・行政手続きのオンライン化について
- ・市内各地の忠魂碑について

新型コロナウイルス感染症対策の商工振興事業について



北川 克則 議員
(令和新風加西)

問 加西市小規模事業者経営持続支援金の状況について。

答 令和2年11月末現在の交付対象は、第1回目の4月、5月が418件、第2回目の6月、7月が568件、第3回目の8月、9月が361件の合計1,347件です。第1回から第3回まで継続して交付対象となっている事業所は152件です。業種別では申請の多い順に、製造業128件、建設業61件、小売業とサービス業が同数の53件、飲食業31件となっています。

8月、9月の申請者では、前年同月比の売上げが50%以上減少している事業所が40%を占めており、継続的な支援が今後も必要であると判断しています。

問 PayPay20%還元の地域活性化キャッシュレス事業について。

答 20%還元のポイント付与額は、8月は3,800万円、10月は6,600万円、8月の1.7倍となり、合わせると3億6,000万円以上が市内で消費されたこととなります。決済金額が多い業種は、自動車整備、家電家具寝具、飲食店、喫茶店、酒類、衣類、食品、理美容となっていますが、その他幅広い業種で利用が進み、効果があったと分析しています。事業所アンケートの結果では、売上げ増66%、客数増56%、キャッシュ

レス決済の増74%、新規顧客の増25%、客単価のアップ19%、市外からの客の増が13%となっており、地域店舗への消費誘導が図られたと考えています。次回の実施では、1回当たりのポイント付与を上限2万円から5,000円にし、ただし1カ月の上限は2万円に据え置いて、少額な決済を数多く幅広く使っていただく方法を検討しています。

要望 新型コロナの影響は長引くと予想されるので、雇用対策や法人税減税などの検討もお願いしたい。

■その他の質問項目

- ・加西病院の経営について
- ・泉よつばこども園設置に伴う空き施設の活用について
- ・県道下滝野市川線の整備について